

令和7年度新年研修会を、1月26日、「ホテル本能寺」において開催しました。

当日は、京都保護観察所所長の藤田博様ならびに観察官の大國幸代様を来賓としてお迎えし、多くの会員が参加する中で開催されました。研修会では、



「なぜパワハラ、セクハラをしてはいけないのか ～トラウマの視点から支援を考える～」を演題として、講師にカウンセラーの友杉明日香先生をお迎えし、ご講演いただきました。

講演では、パワハラやセクハラが被害を受けた人の心に与える影響について、トラウマの視点から分かりやすくお話しいただきました。日常の何気ない言動が相手に深い傷を残すことがあること、また支援に携わる立場として、相手が安心して話せる関係づくりを心がけることの大切さについて、具体例を交えながら丁寧に解説していただきました。

また、藤田所長からは研修会冒頭にご挨拶をいただくとともに、第2部の意見交換会においては乾杯のご発声を賜り、会は終始和やかな雰囲気の中で進行しました。参加した保護司一同、日頃の関わりを振り返る良い機会となり、支援の在り方について改めて考えさせられる、有意義な研修会となりました。

